

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回9月の「てがたん」は9月8日(土)で「草原の生き物観察」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは9月1日(土)です。よろしくお願いいたします。

8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→用水路→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2012年8月11日(土) 10:00~12:00 / くもり時々雨
- 参加人数 14名 (一般13人、子ども1人)
- 市民スタッフ 6名 (岡廣志、竹本周平、弘寛さと子、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名 (塩田いづみ、染谷実紀)

観察記録 - 8月てがたんで観察した生き物リスト

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/カモ科：カルガモ/バン科：オオバン/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/
ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシブトガラス/外来種や家禽：コバクチョウ、パリケン、ドバト

【魚類】

メダカ科：メダカ/ドジョウ科：ドジョウ/コイ科：モツゴ、タイリクバラタナゴ/ハゼ科：ヌマチチブ、ヨシノボリ

【両生類】 アマガエル科：ニホンアマガエル/ウシガエル科：ウシガエル (声)

【貝類】 サカマキガイ科：サカマキガイ

【甲殻類】 テナガエビ科：スジエビ

【昆虫・クモ】

トンボの仲間：コシアキトンボ、シオカラトンボ、アジアイトトンボ/甲虫の仲間：カブトムシ/バッタの仲間：ショウリョウバッタ、コバネイナゴ、クサキリ、トノサマバッタ/カメムシの仲間：アブラゼミ、ミンミンゼミ、ホソヘリカメムシ/チョウ・ガの仲間：キタキチョウ、アゲハ、アオスジアゲハ、イラガ

【花】

キク科：オニノゲシ、セイヨウタンポポ/ツユクサ科：ツユクサ/アカネ科：ヘクソカズラ/カタバミ科：カタバミ/アカバナ科：
アカバナユウゲショウ、メマツヨイグサ、ヒレタゴボウ/オモダカ科：オモダカ/イネ科：クサイ、メヒシバ、エノコログサ/ブドウ科：
ヤブガラシ/アヤメ科：ニワゼキショウ/ゴマノハグサ科：トキワハゼ/マメ科：シロツメクサ、アカツメクサ/
オトギリソウ科：キンシバイ (植栽) / ヤブコウジ科：ヤブコウジ/ヒルガオ科：ヒルガオ/キョウチクトウ科：キョウチクトウ (植栽) /
アオイ科：モミジアオイ、アオイ/トウダイグサ科：エノキグサ/カヤツリグサ科：カヤツリグサ/ミソハギ科：サルスベリ (植栽) /
アカネ科：クちなシ/クマツヅラ科：ボタンクサギ

【実】

クスノキ科：クスノキ/モクセイ科：ネズミモチ/ブナ科：マテバシイ

8月の観察アルバム



今回のがたんのテーマは「手賀沼の中の生き物観察」でした。魚類は6種観察しました（ヨシノボリ、ドジョウ、メダカ、モツゴ、ヌマチチブ、タイリクバラタナゴ）。案内人の岡さんからタナゴと2枚貝の共生関係の話の聞きました。



今月の案内人：岡廣志さん 保田行弘さん



1 水の館前の水路で生き物探し



2 水路に咲いていたヒレタゴボウ



3 水路で見つけたヨシノボリ



4 下見で見つけたイトトンボのヤゴ（種不明）



5 暑い時期（6～9月）に咲くツルクサ



参考写真1



8月てがたんの観察生物とルート



参考写真2

カワセミの求愛給餌

写真：友の会デジカメ同好会 津川拝さん

飛び込む瞬間のカワセミ

写真：友の会デジカメ同好会 仲澤成二さん



12 羽づくろいをしていたオオバン



11 漁協前でみつけたボタンクサギの花



9 手賀沼で見つけたハゼ科のヌマチチブ（写真は飼育個体）



8 手賀沼ではモツゴ、タイリクバラタナゴ、ヌマチチブ、ヨシノボリを観察



10 完全な形で残っていたキリギリス（種不明）の脱皮殻

今月の鳥 カワセミ

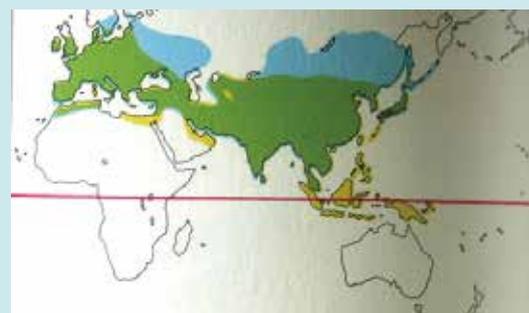
（ブッポウソウ目カワセミ科） 全長：約25cm

日本では全国的に分布しています。カワセミの主な餌は小魚で、杭や枝に止まり、餌をみつけると水面に飛び込みます。また停止飛行しながら狙いを定め、飛び込むこともあります。水の抵抗が少ないように流線型の体をしています。

繁殖期の始めにはオスがメスに餌を渡して求愛する姿をみることがあります。カワセミは一夫一妻で子育てし、土手や崖に嘴と足を使って巣穴を掘ります。一つの巣で4～7個くらい卵を産みます。



カワセミ



カワセミの分布図

分布図の色 留鳥 夏鳥 冬鳥